

研修主題：豊かで温かい心をもつ生徒の育成

副主題：～自分事考えを広げ、深める道徳科の授業づくりを通して～

一人一授業 まとめ

日時	5/28(金)	学年・組	2年1組	授業者	佐々木真由美先生
内容項目	C-(14)家族愛・家庭生活の充実				
題材名(主題)	美しい母の顔(深い愛情で結ばれている家族)				
授業説明	<p>生徒は、思春期を迎え、両親や家族に反抗的になったり素直に家族の愛情を受け入れられなかったりする時期にさしかかっている。また、家庭的に問題を抱えている生徒もいる。そこで、かけがえのない存在として家族の深い愛情によって育てられていることに感謝する気持ちを持ち、家族の在り方や家族の絆について考えさせたい。事前に「家族に対して『嫌だ』『煩わしい』と思ったことはありますか?」というアンケートをとり、親への思いを想起させることによって、自分事として考えるきっかけにした。話し合いでは、付箋を使って、KJ法を用い、多面的・多角的に考えられるように工夫したが、話し合いが深まったかどうか、疑問に思う。問い返しや考えを広げ深める手立て(発問)について、意見が聞きたい。</p>				
参観の感想					
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> イラスト画を使って内容を簡単に振り返ることで、生徒がじっくり考える時間を確保していた。 主発問を3つの視点で考えさせ、3色の付箋に分けて意見を書かせたことで、出させたい意見が明確になった。 グループ内の発表も付箋を貼り替えながら、3つの視点について話し合いができていた。 友達の書いた意見に対して、自分の意見を言っている姿が見られ、以前より深い話し合いができていたように思った。 自分事として考えることの難しい題材だったが、生徒に考え、議論させようとする意図や工夫がたくさん見られた、よい授業だった。とても参考になった。 →ワークシートの構成、付箋紙の工夫、机の並び方、など 3つの視点を上げたことで、「久子への批判」は「今までの自分への反省」、「久子への賞賛」は「これからの自分の行動」へつなげることができた。久子の今後の生き方と、自分の今後の生き方を重ねて考えさせたところが素晴らしかった。 学級目標や具体目標が手作りで温かい雰囲気を感じた。 					
<p>◎課題・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの班で、すべての内容を発表していたので、時間がかかった。→発表する内容や仕方(違う意見だけ発表、など)するとよい。 たくさんの意見が付箋に書けていたが、発表の時には見えないので、見えるとよかった。→タブレットに写真をとって、拡大して掲示するとよい。 KJ法によって、3つの視点を取り上げたことは、多角的に考えるきっかけにはなったが、深まったか。→出した意見について、話し合う場面を作る。3つの視点を、教員が与えるのではなく、生徒自身がKJ法を分類していく。「もっと考えさせたいこと」について深めていく。 生徒の実態から本時のねらいと父母への敬愛か家族の在り方が、どちらかに絞ってもよかったかなと思う。(それによってアンケート内容も違ってくる。) 					

全体で共通理解したいこと

- ・ 主題やアンケート結果、発問などは掲示し、途中から入った人でも、授業の内容が分かるようにする。
- ・ 終末（授業のゴール）まで必ず行く授業にする。そのためには、タイマーなどを使って、話し合いを時間で切ることも大切である。
- ・ 道徳教育の要は、やはり学級経営である。

※一人一授業ありがとうございました。（文責 高橋 宏輔）

授業の様子



板書

